

## 折々の記 No208 : 日本自らの努力が肝要！

(H25/6/16 記)

下の記事は先日行われた米中首脳会談に関する記事であり、よくぞ言ってくれたと評価したい。幾つかの所見を述べたい。

1 ともすれば中国に融和的な政策をとりがちな民主党政権も、流石に最近の中国の横暴さに辟易し、彼の国を抑止することに最終決心したと云えよう。異形の大国を放置すれば取り返しがつかないということが解ったのだと思う。

2 日本はどうあるべきか！

アメリカが日本への脅迫を決して看過しないと云ったからと安堵してはいけない。米国頼りではなく、日本自らの努力、自助努力が当然に求められており、それが前提であると云うことを認識すべきだ。日本自らの努力なくしては、米国も日本を同盟国とみなさないかもしれない。

脅迫には決して屈しないという国民意識の喚起が重要だ。南西諸島防衛の態勢を速やかに構築し、如何なる不法 行動を断念させねばならない。

3 古来、独立自存の気概なき国が栄えた試しはない。大国の狭間にある小国の運命が大国に握られている面は無きにしも非ずだが、知恵を働かせ、一寸の虫にも五分の魂のあるを示し、(独立) 自存の道を求めなければ、何れはどちらかに飲み込まれてしまうだろう。脅迫に簡単に屈するようでは、日本の未来はない。

4 日米同盟を更に確固たるものにすべし！

日米同盟は盤石か、米国が対中融和策に転じないという保証があるか？米国は米国の国益に従って当面日米同盟を有利と判断したに過ぎないと認識すべきだ。日米同盟が永遠に続くとの妄想は捨てるべきだ。日米同盟を確固たるものにする努力が必要だろう。